

① 以下の文章を読みながら「あ・い・う・え・お」に○(まる)をつけてください。

「てんはひとのうえにひとをつくらずひとのしたにひとをつくらず」といへり。さればてんよりひとをしょうずるには、ばんにんはばんにんみなおなじくらいにして、うまれながらきせんじょうげのさべつなく、ばんぶつのれいたるみとところとのはたらきをもっててんちのあいだにあるよろずのものをしり、もっていしょくじゅうのようをたっし、じゅうじざい、たがいにひとのさまたげをなさずしておのおのあんらくにこのよをわたらしめたまうのしゅいなり。されどもいま、ひろくこのにんげんせかいをみわたすに、かしこきひとあり、おろかなるひとあり、まずしきもあり、とめるもあり、きじんもあり、げにんもありて、そのありさまもとどろとのそらいあるににたるはなんぞや。そのしだいはなはだあきらかなり。

『じつごきょう』に、「ひとまなばざればちなし、ちなきものはぐじんなり」とあり。さればけんじんとぐじんとべつはまなぶとまなばざるとによりてできるものなり。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

あ	い	う	え	お
<input type="text"/>				

③ 何について書かれた文章でしたか？口頭で教えてください。

..... 折り線 .....

【文章】 仮名拾い (かなひろい) 課題プリント その5 - あ行編

答え ② あ：13 い：12 う：10 え：2 お：4

③ 人の違い (や学ぶことの大切さ) について書かれた文章。など

文章の出典：

学問のすすめ - 福沢 諭吉 著

を平仮名に加工して作成

◎ リハプリント